



# 大磯小学校 学校だより

令和7年 10月 29日

【学校目標】 おだやかに 自ら学び 共に育つ

校長 成田 麻紀



暑かった日々がうそのように急激に気温が下がり、肌寒い日が続いています。様々な感染症が流行る時期になってきました。本校でも、今月初めにインフルエンザによる学級閉鎖が1クラスありました。その後も続くのだろうかと思いましたが、各学年にバラバラと罹患者が見られますが、幸い学級閉鎖になるような状況はありませんでした。しかし、全校の欠席連絡を見てみると、発熱、咳による欠席が非常に多く見られます。また、肺炎、マイコプラズマ肺炎と診断されての欠席も複数あります。咳が続く場合には、単に力であると思うと危険な場合もあるかと思ひます。寒暖差や気圧の上下等、体調不良につながる要因はたくさんあるかと思ひます。おかしいな、と思われるときには、無理をせず、しっかりと休養をしてください。

今月は、5年生のキャンプがありました。東海大学の学生ボランティア3名に協力いただき、七沢自然ふれあいセンターへ。肌寒い朝でしたが、みんな元気に学校をあとしました。家庭から離れ、自然の中で、仲間と共に様々な体験ができたことは、良い思い出となったのではないのでしょうか。



一年生は、「いきものなかよし」というテーマで講師の先生をお呼びして、保護犬についてお話を聞きました。様々な犬種のカードをくださったそうで、下校時にそのカードが嬉しかったと話してくれる児童もいました。



日頃なかなかふれることのないお話しだったと思います。しかし、写真を見てもわかるとおり、真剣に話を聞いている様子うかがえます。お話を聞いて、いきものの命を大切にするを学んだことと思ひます。虫を好きな児童も多く、公園散策で捕まえたものを次々に見せてくれましたが、どんなものの命も大切にできる人であってほしいです。

さて、今年度本校では、「話を聞く」ということをテーマにしています。そこで、今月の朝礼では、いつもなら先生方が児童に「静かにしなさい」という指導をしているところを、一切しないようにお願いしました。861名の児童が、果たして自分たちの力で静かになれるのか…。制限時間を10分と決めており、先生方は何も言わずに子どもたちを見つめていました。最初に反応があったのは2年生。授業中に使っているハンドサイン、じゃんけんのグーにした手を黙って挙げています。それを見て、同じハンドサインを使っていた3年生が同じように手を挙げ始めました。湖に落ちた一滴の水滴から波紋が広がるように、次第にその雰囲気伝わっていき、最終的には8分が経過したところで、6年生から「静かにして!!」という声が上がりました。おかげで無事にみんな静かになり、朝礼をすることができました。これだけの人数の児童が、大人の介入なしに静かになったことは本当に素晴らしい。この「自分たちでできる」ということを、忘れないでほしいと思ひます。



今回話をしたのは、ずっとふれられず気になっていた、戦後80年のことです。大磯町ではこんな被害があったのだということを知ってほしかったのが一つです。そしてこの知ったことをこれからどうすべきなのか、そして平和の維持のために、自分たちができることはなんなのか、考えてもらいました。直接話を聞くことの難くなった中、意外にも多くの児童が直接話を聞いたことがあるとのこと。その話を次の人へとまたつないでいてほしいです。

